

科目・コース（ユニット）名： 医療とプロフェッショナリズムⅢ
英語名称：Healthcare and Professionalism Ⅲ

【担当責任者】 中村光輝、亀岡弥生

【連絡先】 igakukyo@fmu.ac.jp

【開講年次】 3 年, 【学期】 後期, 【必修／選択】 必須

【授業形態】 講義

【概要】

第1学年の「医療とプロフェッショナリズムⅠ」では医師のプロフェッショナリズムとは何か、守秘義務、医療倫理、医療経済、死生観といった基本的事項を学び、第2学年の「医療とプロフェッショナリズムⅡ」では医師偏在や地域医療事例を題材として Professional Identity Formation や患者中心のケアについて学んだ。第3学年の「医療とプロフェッショナリズムⅢ」では、プロフェッショナリズムにおいて重要なテーマでありながらまだ取り扱っていなかった専門職連携で求められる態度とスキル、バーンアウトとレジリエンス、医療と法、患者安全について学ぶ。また、キャリア教育の観点からロールモデルとの出会いを通して、自身の職業観を涵養しながら主体的にキャリアを構築していくことも目指す。

【学習目標】

1. 多職種の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。
2. 多職種の中で自らの役割を果たすことができる。
3. 自らの心身を大切にできる。
4. 医師法が定める医師の職権と義務を理解している。
5. 医療職を規定する法律・制度を説明できる。
6. 個人及び組織における患者安全管理の重要性を理解し、行動できる。
7. 真摯に疑義に応じることができる。
8. 医療における情報・科学技術に関連する規制(法律、ガイドライン等)の概要を理解している。
9. 医療情報の管理・保管の原則について理解し、関連する規制(法律、倫理基準、個人情報保護のための規定等)を遵守できる。
10. 自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。

【教科書】

宮田靖志／翻訳, Nicola Cooper, Anna Frain, John Frain／編. ABC of 医療プロフェッショナリズム. 羊土社. 2020

【参考書】 講義の中で適宜推薦する。

【成績評価方法】

- ・ 出席状況、講義への参加態度、レポートの内容に基づき総合的に評価する。
- ・ 履修規程に則り、単位認定には3分の2以上の出席が必要である。

【学習上の注意事項】

特記なし。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2027/1/6	水	I	(講) 専門職連携で求められる態度とスキル	中村光輝	
2	2027/1/14	木	IV	(講) バーンアウトとレジリエンス	青木俊太郎	
3	2027/1/20	水	I	(講) 医療法学(診療情報管理と医師の義務)	中島範宏	
4	2027/1/26	火	VI	(講) ロールモデルとの出会い	遠藤翔太	
5	2027/1/27	水	I	(講) 患者安全 (To Err is Human)	中島範宏	

【担当教員】

教員氏名	職	所属	連絡先
中村光輝	助教	医療人育成・支援センター	2178
青木俊太郎	助教	医療人育成・支援センター	2178
中島範宏	准教授	総合科学教育研究センター	2601
遠藤翔太	副院長	よりみち家庭医療クリニック	
亀岡弥生	教授	総合科学教育研究センター	2601

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

該当する。